



〒933-0804 高岡市問屋町 40 (有) 沖商店

沖 昌弘

TEL 0766-25-2525(にっこりにこにこ)

E-mail

FAX 0766-26-5500(ふるへごーごー)

oki2525@oki-shouten.com

平成23年(2011年)明けましておめでとうございます。今年も一年、よろしくお願い申し上げます。

一 設我得佛(阿弥陀の48願)。

私の同輩の皆さんは去年、「古希」という人生の節目を無事乗り越えられ、今年の誕生日で満70歳になられるわけだめでたい限りです。それでそろそろあの世へ行く準備などと思いい、本号は私の信仰する「阿弥陀佛」について簡単に記したいと思えます(私流解釈)。

仏教の中の、浄土宗・浄土真宗などが主経典としている浄土三部経の中の「無量壽経」に、「設我得佛(もし私が佛になるとして)で始まり「若不(不取正覚)(もしそうでないなら私は佛にならない)で終る48節があります。

これは、阿弥陀信仰の中核と言えるものです。昔、法蔵菩薩というある菩薩が仏になろうと発心し、その世界の有様を48章で説明し、「私の国土はこの様にしたい」と願い、「必ずこの様にする」と誓って成仏しました。これが有名な「弥陀の48願」です。

その中の第18章(第20章には「もし私が佛になるとして、世界中の生き物の中で、常に私を頼りにし、心に掛け、私の名を称し、諸々の徳を積み、その徳を以って心から私の国に生

れたいと欲して叶わない者がいたならば佛にならない」とあります。彼は彼の立てた「48誓願」全てをクリアして佛となり「阿弥陀佛」と称され、その国土は「極楽」と呼ばれました。願が成就しなければ佛にならないと誓った上で佛に為ったのですから、彼を信ずる限り、私どもの願い(往生極楽(極楽へ生まれ変わる)も成就しないこととはない」というのが浄土宗・浄土真宗などの主張です。

そしてこの考え方が意に合った者は、「常に「阿弥陀佛」を頼りにし、心に掛け、その名を口にし、徳を積んで、心から彼の国へ生まれ替りたいと欲するべき(発菩提心)だ」と説くのです。そしてその後、段々と信心を深めて行けば良いと教えています。そしてまた、この考え方が意に合わない者は、夫々の納得行く方法・考え方で人生の難問を処して行けば良いとしています。即ち、浄土宗・浄土真宗では、隣近所、周囲に関係なく、唯々自分だけが対象で、自分と阿弥陀佛が一对一で対峙して、他人余人の心配はしないのです。従って他人への布教もしません。教え、考え方は説き聞かせますが、信仰の無理強い・押し付けはしません。信ずるか信じないか本人任せ・本人次

第なので。極楽へ行くための特別な修行も要りません。人としての徳を積むように心掛けるだけです。それもできるだけで宜しく、どれだけ積まなければならぬということはありません。今まで犯してきた悪行(人間が悪行と思ふ悪行)も関係ありません。心の底から信じた時点で帳消しです。但し、五逆(父をころすこと。母を殺すこと。阿羅漢を殺すこと。僧の和合を破ること。仏身を傷つけること。違約もある)を犯した者と正法(仏教)を誹謗する者(過去にした者ではなく)を除くとなつています。教典には「唯除五逆、誹謗正法」と書いてあります。

次に、親鸞聖人が作られた「正信偈」という詩の一説を紹介します。

「顕示難行陸路苦、信樂易行水道楽」意味(悟りのためにする難行苦行は、陸路を行くように苦痛であるのに対し、楽しく阿弥陀佛を信仰することは、大船に乗って水道を行くように楽なことだ)ということが顕著に示されている。目的地に行くのに苦しく困難な陸路を行くより、大船に乗って水道を行く方が楽に決まっている。自力を捨て阿弥陀佛を信じ、凡てをお任せし何の心配(死への恐怖)も無く心安らかに生きて行きましょう、と言う意味。合掌。